

事務事業評価シート 平成 27 年度事後評価・決算

平成 29 年 2 月 22 日時点

事務事業名		コード	4510	定住促進奨励金交付事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別	担当班	企画調整班
基本施策		16	定住の促進	根拠法令	旭市定住促進奨励金交付要綱	一般	2	1	10	☒ 主な事業（重点施策）		
施策の展開		30	定住促進対策の推進	戦略事業	146	定住促進奨励金交付事業				☐ 国土強靱化地域計画		
施策の展開				戦略事業						☐ 新市建設計画		
				戦略事業						☒ 定住自立圏構想		
				戦略事業						☒ 主要事業		

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない		
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 25 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで	今後、さらなる人口減少が予測され、経済の停滞や本市の財政運営への影響等が懸念されることから、定住人口を確保する必要がある。そのため、定住支援策の一環として、定住を目的に新たに本市へ転入し、新築住宅の建設・購入及び中古住宅を購入した人に対し、移住費用の一部として定住促進奨励金50万円を交付する。		
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
本市の人口構造は、転出数が転入数を上回る転出超過となっており、定住人口の確保のため、定住促進奨励金の交付を開始した。	定住促進奨励金の制度を市外へPRすることが課題である。	奨励金を申請した方からは、新生活の準備に大変助かる等の声がある。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細 (27年度の決算)		単位:千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
1.負担金補助及び交付金	22,500	定住促進奨励金	-	8,500	33,500	22,500	20,000
2. 繰越金	0						
3. 繰越金	0						
4. 繰越金	0						
5. 繰越金	0						
② 特定財源の内訳 (27年度の決算)		単位:千円	24年度 (決算)	25年度 (決算)	26年度 (決算)	27年度 (決算)	28年度 (予算)
1.国庫支出金	20,500	地域活性化・地域住民生活等緊急支援交付金(繰越明許分)	0	8,500	33,500	22,500	20,000
2.都道府県支出金	0						
3.地方債	0						
4.その他	2,000	繰越明許繰越金	0	8,500	33,500	2,000	20,000
5.一般財源			0	0	0	0	0

前年度増減理由	
---------	--

従事職員数	常時	1人	最大		人	×		日	=	延べ	0人
-------	----	----	----	--	---	---	--	---	---	----	----

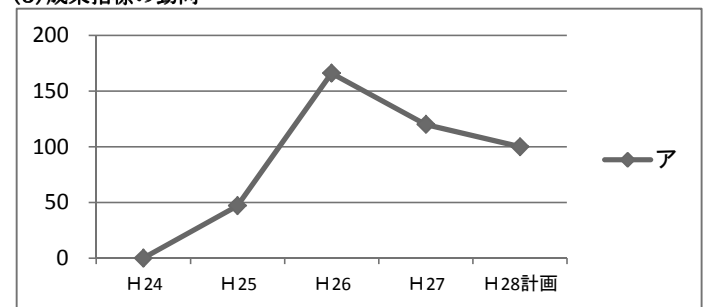
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	⇒	③ 活動指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	27年度実績(27年度に行った主な活動)		ア 定住奨励金の交付件数	件	-	17	67	45	40
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	⇒	④ 成果指標名	単位	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (実績)	28年度 (計画)
	対象意図 市外在住者 定住促進奨励金を利用し、本市に転入する。 対象意図		ア 転入者(定住促進奨励金利用)	人	-	47	166	120	100
			イ						

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果	
施策貢献度	大きい	成果向上余地	コスト比率
	普通	かなりある	下位 1/3
	小さい	ある程度ある	中位 1/3
		ほとんどない	上位 1/3
		評価結果	①
			②
			③
			④⑤
			⑥
			⑦⑧
			⑨

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	☐ 完了 ☒ 順調 ☐ 概ね順調 ☐ 停滞 ☐ 実施困難													
	【コメント】 (停滞・実施困難の場合、その理由)														
	② 成果の状況	成果指標ア	成果指標イ	成果指標のタイプ	数値増＝成果向上	☐ 向上	☐ 横ばい	☒ 低下	成果動向	比較	23年度 24年度	24年度 25年度	25年度 26年度	26年度 27年度	27年度 28計画
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	成果指標イ			☐ 向上	☐ 横ばい	☐ 低下	ア		イ	－	47	119	△ 46	△ 20
	26年度に比べて転入者数は減少しているが、26年度は制度が浸透しておらず当初申請件数が少なかったため、25年度に未申請であった方に個別に通知を送り、反響があった申請が含まれており、前後の年度に比べて多い実績となっているため。														
③ 今年度取組事項 (今年度新たに取り組む事項について記載)	時期	内容			今後の方向性	☐ 拡大 ☐ 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止	☐ 見直し ☐ その他 ()						
	下半期	市外へ向けた定住促進奨励金のPR方法を検討する。(パンフレットの作成・配布等)			H30.3月末	申請件数の増加を目指し、周辺自治体・類似自治体の定住促進制度の研究をする。また、申請1件あたりの転入者数も増加するよう、方法・ターゲット等を検討しながらPRする。									